

独立行政法人家畜改良センター 行動計画

女性職員の採用を増やし、女性が活躍できる雇用環境の整備を行うため、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間 令和8年4月1日～令和9年3月31日

2. 当法人の課題

- (1) 職員全体に占める女性職員のさらなる上昇。
- (2) 管理職に占める女性職員のさらなる上昇。
- (3) 育児休業を取得する男性職員のさらなる上昇。

3. 目標と取組内容・実施時期

目標1：計画期間における一般職の採用者に占める女性の割合を40%以上とするよう努める。

<取組内容>

○ 令和8年4月～

- ・ 広く女性が活躍できる職場であること、実際に近年、女性職員の採用拡大を進めており、採用された女性職員がそれぞれの職場で活躍していることを示す情報を積極的に発信する。
- ・ 業務説明会等に女性職員を積極的に派遣し、女性に対する募集・啓発活動を強化する。

目標2：一般職の管理職に占める女性職員の割合を20%以上とするよう努める。

<取組内容>

○ 令和8年4月～

- ・ 人事交流等を積極的に実施するとともに、管理職養成を目的とした研修に女性職員を積極的に参加させるなど、女性職員の管理職への登用拡大に努める。

目標3：育児と業務の両立支援を積極的に推進するとともに、男性職員の育児休業の取得割合を85%以上とするよう努める。

<取組内容>

○ 令和8年4月～

- ・ 職場内掲示板等を活用し、妊娠中や出産後における休業・休暇制度（男性職員の育児休業を含む）に関する情報発信を継続するとともに、業務分担の見直し等により、職員が制度を利用しやすくなるような職場風土の醸成を図る。
- ・ 子を出産した職員又は配偶者が出産した職員に対し、個別に面談を実施し、育児休業制度や育児と仕事の両立支援の制度について説明を行うとともに、育児休業等の制度を取得した職員の体験談等を職場内掲示板等で共有し、職員に対して制度の積極的な利用を促す。